

いかにして



ギアファーム GEAR FARM 星のぶどう (加茂町三代)

ほしの かずし
(星野 和志さん)

平成29年に祖父母のぶどう園を受け継いで今年で6年目となった今は、ブドウ57.5aと野菜10aを、おばあさんをはじめ5~6人のスタッフで収穫前の作業に追われています。

シャインマスカット、デラウエア、ピオーネ、クインニーナを主に、合わせて10種類のブドウを栽培されています。施した管理結果はすぐには出ず2、3年後に出てくるため、さまざまな作業はとても難しいとのこと。

これから収穫までは温度管理と水やりに気を配ります。糖度だけでなく酸味や皮の食べやすさなどにこだわり、愛情を注いで栽培されています。思いのたくさん詰まったブドウと共に届けられるパンフレットにも、星野さんの熱い思いが感じられます。生産者の思いやブドウが届くまでの作業などが書かれたパンフレットと共にいただくとさらに美味しくいただけます。



シャインマスカット



おばあさんの 小なまあさ 舟木章子さんと和志さん

プチ情報

地元の加茂遊学ファームやみしまやなどで店頭販売されているほか、オンラインやFAXなどで注文できます。

農園では、前日までに電話予約(☎0854-49-8995)することで朝採れブドウが購入できます。



SNSでも情報発信中 ☎0854-49-8995

Instagram @gearfarm.hoshino

Facebook @gear.farm.shimane



パンフレット

令和4年度 最適化活動の目標 (要旨)

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

現 状	管内の農地面積 (A)	これまでの集積面積 (B)	集積率 (B) / (A)	
	3,490 ha	571 ha	16.4 %	
課 題	中山間地域では、ほ場条件の悪さ（鳥獣被害、未整備など）や農家の高齢化、担い手不足が大きな課題であり農地の集積が進まない。 任意の集落営農組織化（機械共同利用等）は進んでいるが、農地の利用集積までには至らない。			
目 標	今年度の新規集積面積	884 ha	農地面積 (C)	3,490 ha
	今年度末の集積面積 (累計) (D)	1,455 ha	(目標) 今年度末の集積率 (E)=(D) / (C)	41.7 %

(2) 遊休農地の解消

現 状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	13 ha	4 ha	9 ha
課 題	中山間地域のほ場条件が悪く、農地所有者の高齢化と後継者不在など耕作者の確保が困難となっている。生産にかかるコストの増大、米価の全国的な下落といった農業を取り巻く条件は良くなく生産者の耕作意欲の減退につながっている。		

●既存遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1 ha
令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	9 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	島根県、雲南市、農地中間管理機構などと協議し、黄区分の遊休農地の解消のための工程表を策定する。
前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha

(3) 新規参入の促進

現 状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	
	1 経営体 0 ha	1 経営体 1 ha	0 経営体 0 ha	
課 題	中山間地域のほ場条件の悪さから農地を集積する農業者が育ちにくい状況がある。主要な園芸品目が無く、農業所得の確保につながらない。新規就農者の育成へ向けた技術の習得、資金や所得の確保、農地の確保等の諸施策の充実が必要である。			
権利移動目標面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	169 ha	164 ha	151 ha	161 ha
新規参入者への貸し付けなどについて農地所有者の同意を得た上で公表する農地の目標面積				17 ha

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員などが最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19人
		農地利用最適化推進委員の人数	37人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		1回
取り組み時期	取り組み項目	強化月間の内容
8月～1月	遊休農地の解消 農地の集積	農地パトロールによる遊休農地の把握 利用状況調査結果に基づく耕作の意向確認

(3) 新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1回	
開催時期	未定	相談会名	新規就農経営検討会
参加者数	未定	開催場所	雲南市役所
相談会の内容		新規就農者の準備段階から定着まで定期的に検討会を行う。	



農業委員会からのお知らせ
令和3年度の活動報告と併せ、詳細は農業委員会ホームページに掲載しています。



農地パトロール (利用意向調査) を行います

農業委員会では

- ①遊休農地の実態把握と発生防止・解消
- ②地域の農地利用の確認
- ③違反転用発生防止・早期発見

を目的に毎年市内全域を農地パトロール（利用意向調査）しています。

農地パトロールでは市内にある農地の利用状況調査を行います。

現地調査では、農地の営農状況や、荒廃の情報等を把握します。

調査で農地を Aa【緑】分類、Ab【黄】分類、B【赤】分類に区別します



昨年の農地パトロールの様子

なぜ調査が必要なの？

農地法では「農地を農業上適正、かつ効率的な利用が確保するようにしなければならない」と農地の権利を有する者の責務規定があります。

農地の適正な管理を怠ると雑草の繁茂や害虫の温床だけでなく、ごみの不法投棄や悪臭や汚水などの発生源となり近隣農業者や周辺住民に大きな迷惑となる可能性がありますので適正な管理をお願いします。



遊休農地とは？

- 1号遊休農地 1年以上にわたり耕作されておらず、今後も維持管理や耕作が行われる見込みがない農地 【緑・黄】
- 2号遊休農地 農作物の栽培は行われているが周辺の農地と比べてその程度が著しく劣っている農地

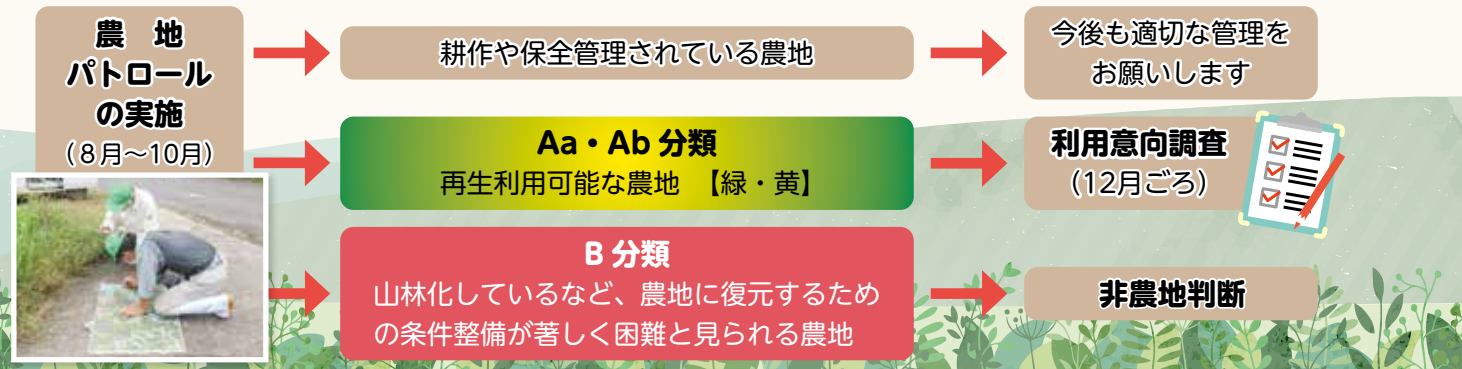
Aa分類
再生利用が可能な荒廃農地

草刈り等で直ちに可能となる農地【緑】

Ab分類
再生利用が可能な荒廃農地

基盤整備事業等の整備が必要となる農地【黄】

B分類
再生利用が困難な農地



空き農地バンク 登録状況

令和4年7月1日現在

登録番号	所在地	地目	面積 (㎡)	進入路	農地の状態	備考
21-01	大東町下佐世	畑	496	有 道幅2.5m	休耕中	01-02は隣接
21-02	大東町下佐世	畑	31	有 道幅2.5m	休耕中	01-02は隣接
21-03	木次町東日登	田	694	有 道幅3m	耕作	
21-04	木次町東日登	田	1,945	有 道幅3m	耕作	05.06と隣接
21-05	木次町東日登	田	825	有 道幅3m	耕作	04.06と隣接
21-06	木次町東日登	田	443	有 道幅3m	耕作	04.05と隣接
21-07	大東町西阿用	田	443	有 道幅3m	耕作	07-12は全て隣接
21-08	大東町西阿用	田	180	有 道幅3m	耕作	07-12は全て隣接
21-09	大東町西阿用	田	1,049	有 道幅3m	耕作	07-12は全て隣接
21-10	大東町西阿用	田	1,064	有 道幅3m	耕作	07-12は全て隣接
21-11	大東町西阿用	田	987	有 道幅3m	耕作	07-12は全て隣接
21-12	木次町新市	畑	293	有	休耕中	12-13は隣接
21-13	木次町新市	畑	13	有	休耕中	12-13は隣接
21-14	大東町新庄	田	364	有 道幅3m	休耕中	14-16は隣接
21-15	大東町新庄	畑	329	有 道幅3m	休耕中	14-16は隣接
21-16	大東町新庄	田	1,652	有 道幅3m	休耕中	14-16は隣接
21-17	大東町新庄	畑	136	有 道幅3m	休耕中	
21-18	大東町新庄	田	2,602	有 道幅3m	休耕中	
21-19	木次町上熊谷	田	504	有 道幅0.5m	休耕中	19-20は隣接

登録番号	所在地	地目	面積 (㎡)	進入路	農地の状態	備考
21-20	木次町上熊谷	畑	84	なし	休耕中	19-20は隣接
21-21	木次町上熊谷	畑	1,235	有 道幅3m	休耕中	21-22は隣接
21-22	木次町上熊谷	田	1,059	有 道幅3m	休耕中	21-22は隣接
21-23	木次町上熊谷	畑	583	有 道幅3m	休耕中	
22-01	大東町須賀	田	928	有 道幅3m	休耕中	
22-02	大東町須賀	田	659	有 道幅3m	休耕中	02-05は隣接
22-03	大東町須賀	田	991	有 道幅3m	休耕中	02-05は隣接
22-04	大東町須賀	田	495	有 道幅3m	休耕中	02-05は隣接
22-05	大東町須賀	田	404	有 道幅3m	休耕中	02-05は隣接
22-06	大東町大東	田	627	有 道幅1m	休耕中	
22-07	大東町大東	畑	310	有 道幅3m	休耕中	
22-08	木次町東日登	田	560	有 道幅6m	休耕中	08-09は隣接
22-09	木次町東日登	田	462	有 道幅6m	休耕中	08-09は隣接
22-10	木次町東日登	田	423	有 道幅6m	休耕中	

* 農業委員会ホームページでは農地の画像を掲載しています (右記二次元コード)。
* 農地の詳細は農業委員会へ問い合わせください。



うんなんの
うまいもん
シリーズ

農業委員会の情報委員メンバーの「ちよつとこれーたべてみーだわー」という商品を紹介していきます。

今回はこれ

今回のうまいもんシリーズは、斐伊川清流の畔、木次町湯村の泊まれるレストラン「tsukaru」を紹介します。

「tsukaru」というのは、自然につかる・湯村につかる・温泉につかる という意味から付けたもの」と大阪府から雲南市に移住し、この宿泊ができるレストランを営んでいる足立竜太さん、志帆さんが話してくれました。



提供されるメニューとレストラン



足立志帆さん 足立竜太さん

営業時間：11:00～

日によって変更するため、問い合わせる必要があります。

定休日：月曜日（不定休）

問い合わせ先：☎ 070-8346-5428



料理を考える。市内の生産者の思いのこもった食材のおいしさや土地にあった食材を市外の地域の方にも知ってほしいと心のこもった料理を提供する竜太さん。

お客さんにゆったりとくつろぎホッとする時間を持ってもらえるようなレストランにするのが目標と話す志帆さん。ゆっくり時間が流れるようなイベントやワークショップもやってみたいと夢を語っていたいただきました。

雲南市や湯村地区を本当に愛してやまない様子が好印象の二人です。

取材当日は、おいしい料理とデザート、そして二人のおもてなしの心で癒しの時間を過ごすことができました。（佐藤博子）

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

老後生活への備えは十分ですか？



- 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！
- 一定の要件を満たす方には、月額最大**1万円の保険料補助**
- 加入で大きな節税効果！
- 保険料は**全額社会保険料控除の対象**

終身年金で安心！



令和4年から**改正**されました。

- ① 35歳未満の方は保険料下限額が2万円 ⇒ 1万円に引き下げ。（一定の要件あり）
- ② 年金受給開始時期が選択できます。（65才以上75才未満で選択）
- ③ 65歳まで加入できます。（国民年金任意加入者のみ）

※詳しくは農業委員会やお近くのJAへ！

詳しくは… <https://www.nounen.go.jp>



かんたんおすすめ家庭菜園ガイドブック VOL.2 発行！

キッチンにちょっとあったらいい野菜、手軽に作れる野菜など作ってみませんか？
第2弾は移住者さんからのおすすめ活用も紹介しています。
家庭菜園ビキナーにおすすめする「調理にすぐに使えて、あると便利よ！」とキッチン目線で作成しました。



雲南市農業委員会女性委員



編集後記

農家の方に「今年の水稻・畑作の出来はどうですか」と尋ねると、「雨は少なかったがまあまあ平年並みかな」と返事が返ってきました。「平年並み」の言葉を多く聞きますが、いろいろな意味がありさまざまです。水稻10a当たりの収量は平野部より山間部は少なくなるため、品質にこだわりのおいしいコメ作りをめざしている農家がいまです。今年も降雨も少なく水不足が心配されますが、近年の異常気象も心配になります。昨年7月に雲南市を襲った山陰豪雨は記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。一日も早い復旧を願っています。

今夏の天候で注意したいのは、線状降水帯などの大雨や台風の発生です。天気予報を見ながら対策を立てましょう。今年も平年並みであることを願っています。

（神田邦昭）